

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第193号(2023. 3. 1)
事務局 川西地区自主防災会

地域とともに進める防災教育の取組

丸亀市立城辰小学校
校長 安河内 正広

1 丸亀市川西町について

川西町は、川西の名の通り、県内唯一の一級河川土器川の西沿いにあり、丸亀市の中央東部に位置している。東西1.3km、南北4.3kmと、土器川に沿って南北に長くなっており、かねてから土器川との結びつきが深かったことがうかがえます(図1参照)。

町内には、城辰小学校、城辰幼稚園、城辰保育所の3つの公立教育機関があります。

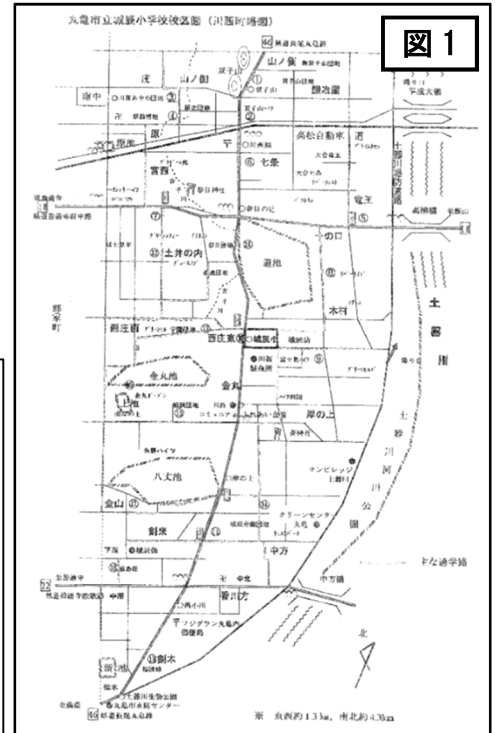


図1

教育目標及び本年度の経営努力事項

図2

(1) 学校経営目標

豊かな心で ともに 生き生きと学ぶ 子どもの育成
～ 進んで学ぶ子 なかよくする子 元気な子 ～

(2) 児童像

- 意欲を持って、自らすすんで生き生きと学ぶ子
- いじめや差別がなく、自分も友だちも大切にできる子
- 健康や安全に気をつけ、心や体を鍛える子

(3) 教師像

- 人権尊重の視点で子どもを見つめ、寄り添い、温かく包み込みながら、しっかりと鍛えていく教師
- 自主的に研修・研鑽に努め、自らを高めるとともに、互いに高め合う教師集団

(4) 努力事項

① 学習指導の充実	② 豊かな関係性の構築	③ 健康・安全・体育指導の充実
資質・能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> 個別の知識・理解の習得(各教科の個別の知識・技能) 思考力・判断力・表現力の育成(様々な状況に対応する力) 学びに向かう力・人間性の涵養(学んだことを生活に生かす力) PDCA サイクルに基づく実践の構築 学びに向かう姿勢 <ul style="list-style-type: none"> 授業中、興味や関心を持って粘り強く学ぶ(主体的な学び) 友だちとよく話し合って考えを深める(対話的な学び) 習得・活用・探求の過程を踏まえ問題の解決策を考える(深い学び) 確かな学びにつながる学習習慣の形成 <ul style="list-style-type: none"> 発達段階を踏まえ、基本的な学びの姿勢を育成 ドリルタイムの充実 Power Up 週間 PUテストを実施 家庭と連携した家庭学習の充実 	いじめゼロの学校 <ul style="list-style-type: none"> 全職員でいじめゼロに取り組む 暖かい支持的風土のある学校・学級づくり いじめや差別がなくそうとする子 人権・向和教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> 知的理解を深める(人権問題への正しい理解と認識)(指導内容や方法の工夫・改善) 自尊感情の育成(自分も友だちも大切に)(されていやなことは人にしない) 人権感覚の育成(居心地のいい教室をつくる)(自己有用感・自己肯定感を高める) 発達障害等のある子への適切な対応 <ul style="list-style-type: none"> 支援を必要とする児童への支援のあり方の研究 市巡回カウンセリングやスクールカウンセラーと連携した取組 障害の理解と障害に応じた支援のあり方の共通理解 家庭と連携した自立を促す支援の充実 	健康・安全への意識向上 <ul style="list-style-type: none"> 自分自身の健康への意識を高める 清潔調べ(ハンカチ・ティッシュ・つめ)(早寝・早起き・朝ご飯) バランスのよい食事 十分な栄養と睡眠 休まず元気に登校する 自分の体も友だちの体も大切に 人に怪我をさせず、優しく接する 怪我をしないように安全に生活する 体力の向上 <ul style="list-style-type: none"> 体力テストの向上 元気に外で遊ぶ習慣をつくる 全校的な取り組みを継続(体力作り・クラスマッチ等) 体育の授業の準備運動の見直し 基本動作の体の動きを加える 安全意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> 登校班による安全な登下校 交通安全教室等の活用 防災訓練の充実 安全マップの作成 避難訓練等による安全意識の向上
④ 小・中学校間、家庭・地域社会との連携強化と信頼される学校づくり <ul style="list-style-type: none"> 南学校群での小中連携を踏まえた統一した取組の充実 学校運営協議会(コミュニティスクール)や外部評価の充実と活用 保護者、地域への積極的な情報発信と関係機関との連携 		

川西町は、2,700世帯中、約65%の1,750世帯が自治会に加入するなど、自治会活動が盛んに行われています。その活動の一環として、川西地区自主防災会があり、川西地区のみならず、県内の防災活動を牽引する存在として活躍しています。

- ・ 防災訓練の充実
- ・ 安全マップの作成
- ・ 避難訓練等による安全意識の向上

(5) キャッチフレーズ 『 周りの人のことを考える子 』

2 城辰小学校について

城辰小学校は、16 学級あり、321 名が在籍している（写真 1）。

本校は、長年人権・同和教育を学校運営の基盤に据えており、学校教育目標は「豊かな心で ともに生き生きと学ぶ 子供の育成」とし、「人を大切にすること」を意識した学習や行事を展開しています（図 2 参照）。

人権・同和教育を進める上で、地域との交流は欠かせず、校区内にある福祉施設や教育機関を訪問したり、ゲストティーチャーを迎えたりするなど、多様な人との出会いを大切にした学習を深めています。川西コミュニティセンターとの交流も盛んであり、特に、防災教育は川西地区自主防災会の全面的なバックアップを受け、訓練等を通じて「人を大切にすること」の充実を図っている。学校の努力事項に「防災訓練の充実、安全マップの作成、避難訓練等による安全意識の向上」を掲げるなど、防災教育は学校教育の大きな役目を担っている（図 2 参照）。



写真 1

3 本校の防災教育について

（1）これまでの取組

2002 年に川西地区自主防災会が結成され、本校の防災教育の取組が広がりました。取組により、子供たちは「人の大切さ」や「命の大切さ」を実体験を通じて感じ取ることができています。

以下に、これまでに行った特色ある取組を紹介します。

香川県総合防災訓練

「防災の日」である 9 月 1 日頃に香川県が実施している大規模な防災訓練に子供たちが参加し、大人たちが訓練に真剣に臨む姿を目の当たりにしました（写真 2 参照）。



写真 2

AED を使用した訓練

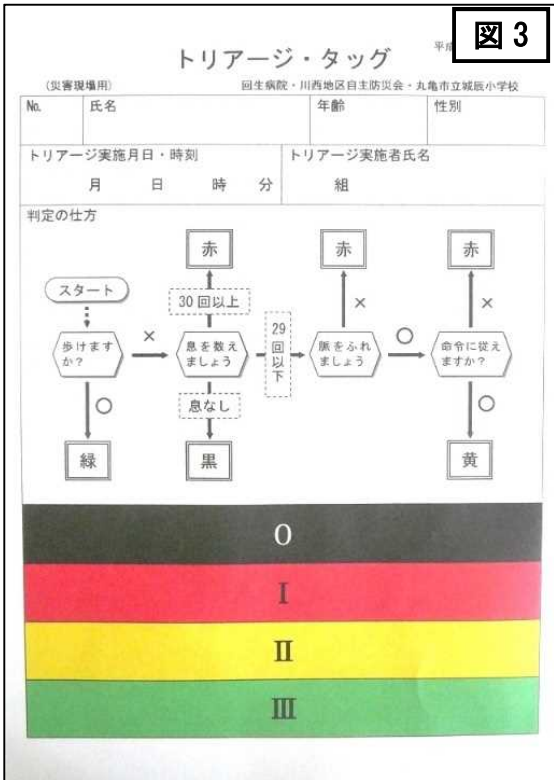
一人一人が実際に AED を体験することで、人命救助の大切さを感じ取ることができました（写真 3 参照）。



写真 3

トリアージ・タッグ訓練

自主防災会と学校で作成したトリアージ・タッグを用いて、使用方法について学びました（図3参照）。



中国の子供たちとの合同訓練

中国陝西省青少年交流団を迎え、防災訓練や炊き出しの豚汁を一緒に食べることで、日中の交流を深めました（写真4参照）。



写真4

子供防災伝道師

本校の児童が、子供防災伝道師として、校区内にあるスーパーで職員やお客さんへ人命救助等の仕方を伝えました（写真5参照）。



写真5

ぼうさい甲子園

神戸市で行われた「ぼうさい甲子園」で、児童の代表者が本校の防災教育について発表し、「1.17 防災未来賞」を受賞しました。川西地区自主防災会を中心とする地域と学校の連携した取組が評価されました（写真6参照）。



写真6

(2) 本年度の取組

長年地道な取組を進めてきた本校の防災教育であります、新型コロナの影響を受け、体験を伴った活動ができずにいました。

本年度に入り、感染状況を考慮しながら徐々に活動が再開され、自主防災会の協力を得て、2度訓練が開催できましたので紹介します。

基本訓練

消火体験、車椅子体験、搬送体験、土のうづくり体験等、設定された場所をローテーションすることで、たくさんの体験をすることができた。子供たちは、自分たちにもできることがたくさんあると実感でき、地域のために役に立ちたいという気持ちを強くしました。(写真7・8・9・10 参照)



写真7

写真8



写真9

写真10

段ボールを使った訓練

本校体育館にある地域防災倉庫にある段ボールを使って、パーテーション、簡易トイレ、簡易ベッドを作る体験をしました。自分たちで考えて作るように指示されましたが、なかまと相談しながら完成させることができました(写真11・12・13 参照)



写真11



写真12



写真13

(3) これからの展望

本校は、自主防災会という地域の大きな支えがあり、充実した防災教育を進められていましたが、新型コロナの影響や学校の多忙化などにより、以前のような取組が実施できていないのが現状です。

まずは、これまでに先輩が残してくれた実績を紹介し、地域のためにがんばろうとする子供たちの意欲を高めることから始めていきます。

今月は事務局を担当している川西地区の近況を紹介したいと思います。

トルコ・シリア大地震へ人道支援

去る 2 月 21 日、日本赤十字香川県支部へ川西地区連合自治会として金 50 万円をトルコ・シリア大地震への人道支援として贈呈させていただきました。

【トルコ・シリア大地震】2 月 6 日早朝、トルコ南東部とシリア北部の広い範囲で、強い地震が発生。トルコとシリアでは数万人の死亡が確認され、多くの人々が家を失いました。



防災フェス in 丸亀 2023 の支援活動

防災フェス in 丸亀 2023（主催：防災教育研究会かがわ）の支援活動を行ないました。

開催日時：2023. 2. 11（土）10. 00～15. 00

開催場所：レクザムホールパーク丸亀（野球場）

かがわ自主ぼう連絡協議会は共催の立場で以下のような支援を行ないました。

- ア. 来場者への豚汁サービスとして 500 食用意しました。
- イ. 備品類の展示と活動パネル（縦 1, 600×横 1, 000）10 枚もあわせて展示
- ウ. 防災セッションに岩崎が参加。テーマは「冬の防災を考える」マンション防災のパイオニア、冬山登山家の 3 名で討論を行ないました。

参加機関として、香川県警察本部、NTT 西日本、大塚製薬、香川県広域水道企業団、山倉建設、宝食品、岡モーターズ、丸亀市消防本部、丸亀市

3 年前は真夏に、今回は真冬と参加するメンバーも気合いを入れてのぞみました。



編集後記

3 月の防災減災の輪は、丸亀市立城辰小学校 校長 安河内様の原稿を掲載させていただきました。平成 21 年に防災甲子園において優秀賞をいただいた後、停滞気味でしたが、熱心な校長、教頭先生に、あらためてチャレンジするようお願いしています。尚事務局としてお詫び申し上げます。会報の通しの発行番号において第 189 号がぬけております関係で 200 号達成記念は通し番号 201 号に到達時点で実施することといたします。ご了解をお願いいたします。